学校番号	３００１

令和２年度　フラワーファクトリ科

教科	農業	科目	総合実習	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１年生の「総合実習」では、フラワーファクトリ科の各分野の知識・技術を全般的に学びました。これに対し、２年生の「総合実習」では、普段それぞれの専攻で扱っている植物について、春期や夏季に長時間実習に取り組むことで、総合的な知識・技術を身につける授業です。

また、放課後を利用して普段の管理栽培技術の習得も目指しましょう。

2　学習の到達目標

・普段の実習や座学で学んでいる植物について、日常の管理方法や栽培に関する技術を復習する。
・授業で扱っている植物に関して、知識を深める。
・農業クラブ活動について、知識を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	農業の各分野について関心を持ち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身につけている。	農業に関する諸問題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、農業に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身につけている。	農業の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、農業に関する諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	農業の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、農業の意義や役割を理解している。
評価方法	学習状況の観察 ノートや記録簿の記述 課題など	学習状況の観察 ノートや記録簿の記述 課題など	学習状況の観察 ノートや記録簿の記述 農業クラブ級位検定	学習状況の観察 ノートや記録簿の記述 農業クラブ級位検定 課題など

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	専門技術総合実習 学校農業クラブ活動	栽培管理の知識と技術 各種発表会への参加 級位検定	○ ○	 ○	○ ○	○ ○	a:時季に応じた専門技術に関心を持ち、意欲的に学習に取組もうとしている。 b:時季に応じた専門技術についての諸課題を発見し、その改善を図るために思考を深め、判断・表現している。 c: 時季に応じた専門技術について基本的な技術を身に付け、その技術を活用している。 d: 時季に応じた専門技術について理解し、基礎的・基本的な知識を身に付けている。	学習状況の観察 ノートや記録簿の記述 農業クラブ発表会・級位検定 課題など
2学期	専門技術総合実習 学校農業クラブ活動	栽培管理の知識と技術 級位検定	○		○ ○	○ ○	a:時季に応じた専門技術に関心を持ち、意欲的に学習に取組もうとしている。 b:時季に応じた専門技術についての諸課題を発見し、その改善を図るために思考を深め、判断・表現している。 c: 時季に応じた専門技術について基本的な技術を身に付け、その技術を活用している。 d: 時季に応じた専門技術について理解し、基礎的・基本的な知識を身に付けている。	学習状況の観察 ノートや記録簿の記述 農業クラブ級位検定 課題など
3学期	専門技術総合実習 学校農業クラブ活動	栽培管理の知識と技術 一年間の振り返りと、次年度の取り組みの設定 プロジェクト活動の課題設定など	○ ○ ○	 ○ ○	○ ○	○ ○	a:時季に応じた専門技術に関心を持ち、意欲的に学習に取組もうとしている。 b:時季に応じた専門技術についての諸課題を発見し、その改善を図るために思考を深め、判断・表現している。 c: 時季に応じた専門技術について基本的な技術を身に付け、その技術を活用している。 d: 時季に応じた専門技術について理解し、基礎的・基本的な知識を身に付けている。	学習状況の観察 ノートや記録簿の記述 課題など

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。